



ムハマド・ユヌス博士と考える東北復興シンポジウム - 「ソーシャル・ビジネスを活用した自立復興支援の可能性」の開催について -

概要

九州大学は、東日本大震災被災地復興支援の一環として、震災発生から1年が経過した平成24年3月に、ムハマド・ユヌス博士（グラミン銀行創設者、ノーベル平和賞受賞者、九州大学名誉教授）を東北へ招聘し、ユヌス博士が提唱する「ソーシャル・ビジネス」を活用した被災地域（者）自立復興支援の可能性について考える契機とするため、仙台市で「ムハマド・ユヌス博士と考える東北復興シンポジウム～ ソーシャル・ビジネスを活用した自立復興支援の可能性について～」を開催します。シンポジウムでは、ユヌス博士の提唱するソーシャル・ビジネスの概念を東北の方へ紹介することにより、ソーシャル・ビジネスを活用した自立復興支援の有効性を提案します。

■内容

東日本大震災発生から1年が経過した今、被災地域では失業率の悪化や不十分な居住環境等による精神的疲弊が深刻さを増しており、現地における復興支援策の拡充が急務となっています。

ムハマド・ユヌス博士の提唱する「ソーシャル・ビジネス」はその支援手法において被支援者の自立に資する事を第一の目的としている点、また寄附金等で運営されるNPO等とは異なりビジネスの手法をとる点で持続的な復興支援が可能です。九州大学では昨年夏のユヌス博士来日時に「ソーシャル・ビジネスを活用した被災者の自立復興支援」をテーマに、ユヌス博士と参加者が同テーマについて考え協議するイベント「ソーシャル・ビジネス・フォーラム・アジア in福岡2011」を開催しました。フォーラムでは実際に具体的な支援策について協議する場としてワークショップを設け、実際に幾つかのプロジェクト創出を行いました。

その後、そこで出された事業案を具現化へと導くことを目的に「フォローアップ ワークショップ（全3回）」開催を決定し、平成24年1月28日に第2回を東北大学（大学院 経済学研究科 大滝教授）、宮城大学（地域連携センター 風見教授）の協力を得て東北の地（東北大学）にて実施し、現在進行中の3プロジェクトの発表を行っています。

今回、ユヌス博士の東北訪問を機に一般の方を対象にしたシンポジウムを開催することにより、ひとりでも多くの方へ「ソーシャル・ビジネスを活用した自立復興支援」の有効性について紹介し、東北地域における「ソーシャル・ビジネスを活用した自立復興支援」への機運を高め、その普及を目指します。また、ユヌス博士滞在中はあわせて被災地の視察等を予定しています。

■開催概要

- ◆ 日時：2012年3月11日（夕方）もしくは3月12日（調整中）
- ◆ 場所：宮城県仙台市内（調整中）
- ◆ 主催：九州大学（ユヌス&椎木ソーシャル・ビジネス研究センター（SBRC））
特定非営利活動法人 アースアイデンティティ
- ◆ 共催：東北大学、宮城大学（予定）
- ◆ プログラム：
 - 【開会の挨拶】
 - 【基調講演】ムハマド・ユヌス博士
「ソーシャル・ビジネスを活用した自立復興支援の可能性（仮）」
 - 【講演&パネル・ディスカッション】
 - 【ソーシャル・ビジネス プロジェクト活動事例紹介】
「GIFTOY」プロジェクト

■ユヌス博士滞在期間中予定プログラム（3月11日～3月12日）

※ユヌス博士東北滞在期間中は以下プログラムへの参加を予定しています

- 被災地視察：名取市周辺／気仙沼市／陸前高田市
（商工会議所、NPO 等とのミーティングも含む）
- 東北大学 名誉博士号授与式への参加／講演（東北大学主催）
- 仙台市式典参加（調整中）
- エグゼクティブ・ランチ（地元の方々との懇談）
- エグゼクティブ・ディナー（地元の方々との懇談）
- 青森県での公開シンポジウム開催（九州大学共催）

【お問い合わせ】

九州大学 ユヌス&椎木ソーシャル・ビジネス研究センター

電話：092-642-2744

E-Mail：info@gcl.kyushu-u.ac.jp